

支援教育部ニュース

令和7年度公開授業・研究協議会 まとめI

第14号
令和8年3月6日
発行：八尾支援学校
文責：伊藤健太

今年度も2回の公開授業・研究協議会を実施しました。ご協力ありがとうございました。

今年度は中河内ブロックの小・中学校の先生方に公開し、多くの参加がありました。研究協議会では他校の先生との意見交換という数少ない機会を得ることができ、八尾支援学校全体の授業力向上、キャリア教育内容の充実をめざした取り組みを進めることができました。

今回も協議会にて様々な意見交換が行われました。まとめを2部に渡って作成しましたのでご覧ください。日々の授業や教育活動で役立てていただければと思います。

人を大切にする力(人間関係形成・社会形成能力)

- ・気持ちや困ったことがあるときに、周囲に伝える。・他者に自分から働きかける。
- ・自分の役割を理解し、行動する。・相手の立場で物事を考える。・役割を継続的に実行する。など



公開授業では、「役割分担と協力」「報告・連絡・相談」などがキーワードとして挙がっていました。授業の中で話し合いや作戦タイムを取る際には、自分から他者に働きかけることが難しい児童生徒に対して表出の手段を準備することや、「共通言語」を用意するなど、児童生徒同士のコミュニケーションを支える支援の手立てが必要となります。また、何について話をするのかポイントを絞って提示したり、進行表を活用して話し合いの進め方をフォローしたりするのもよいかもしれません。

また、「意見」を出すことが難しい児童生徒が対象の場合は、「はい/いいえ」「よい/よくない」など、クローズド・クエスチョンを用いて、自分の意見を表出するハードルを下げ、他者に働きかける意欲を高めていくことも大切です。



自分を大切にする力(自己理解・自己管理能力)

- ・呼名に応じる。(ジェスチャーなどでもOK) ・自分の気持ちを表現する。(文章や言葉で)
- ・日常生活を送る上で必要な学力、生活能力がある。など

「自立した社会生活を送るうえで必要となる能力」がこの分野の中心です。中学部・高等部の授業では「基礎学力・基礎体力」の項目にチェックをつけて、日常生活を送る上で必要となる読み書きの能力や運動能力を高める学習内容に取り組まれていました。児童生徒が将来社会生活を送る際にどんな能力が必要かを検討し、【生かすことのできる学力・体力】を身につけてあげることがとても大切なことだと思います。今日の自分の授業での学びが、将来児童生徒のどのような力につながっていくのか、今一度想像しながら授業を組み立てていきたいと感じました。

「日常生活で必要な生活能力がある。」の項目は、衣食住に関する能力の事で、小学部段階から培っていく必要のある部分です。着替えや衣服による温度調節、健康的な食事、清潔な住環境など、少しずつ積み重ねていきたいですね。

